



STARZEN REPORT

スターゼンレポート

第77期報告書

2015年4月1日 ▶ 2016年3月31日

★ ★ ★ ★ ★

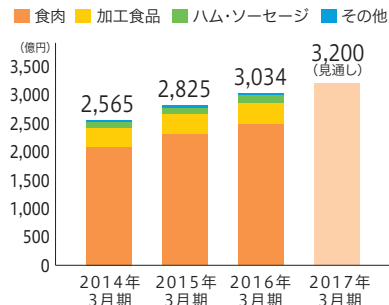
チームの力で
食の豊かさを創造する
企業グループへ

★ ★ ★ ★ ★

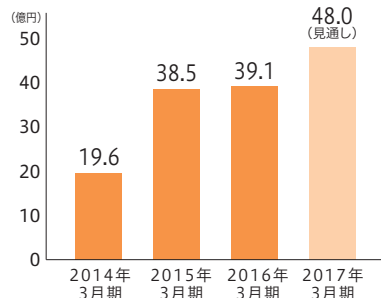
スターゼンの1年	P.1
株主の皆様へ	P.2
社長に聞く 中期経営計画	P.3
会社概要／株式の状況	P.6

業績の動向

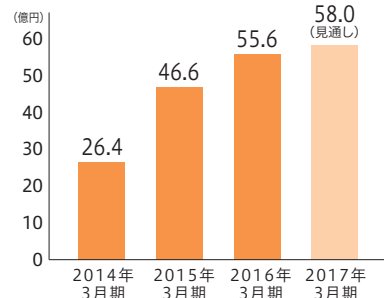
売上高(商品別)



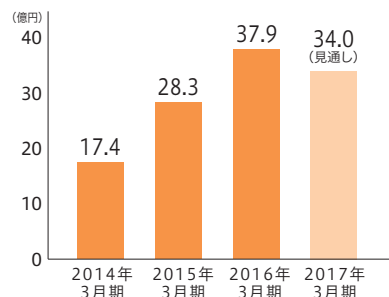
営業利益



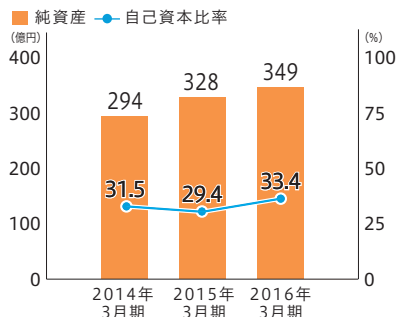
経常利益



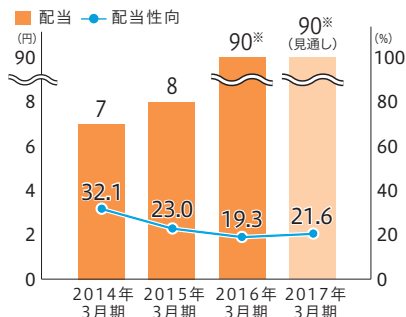
親会社株主に帰属する当期純利益



純資産・自己資本比率



配当・配当性向



※2015年10月1日を効力発生日とする株式併合の影響を考慮して記載しています。これ以前と同様の条件において算出した場合の1株あたりの配当額は、2016年3月期、2017年3月期とも9円となります。

主なトピックス

2015

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

2016

1月

2月

3月

- 営業・販売体制の効率化に向けて販売子会社2社を合併
- コンプライアンス体制強化に向けて機構改組を実施
- 松尾工場のハンバーグ製造ラインを増設

- スターゼンミートプロセッサー加世田工場がSQF認証審査に合格

- イタリア・ミラノで和牛の魅力を伝えるイベントを開催

- 国際見本市「ANUGA 2015」(ドイツ)で和牛メニューを提案

- 「秋田 純糖豚」がフード・アクション・ニッポンアワードで入賞

グループの強みを さらに強固なものとし、 新たな価値創造へ。

代表取締役社長 中津濱 健



株主の皆様には、日頃より格別のご支援ならびにご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期(2016年3月期)の食肉業界は、出荷頭数の減少などから、国産食肉・輸入食肉とも牛肉の相場が上昇しました。一方で、豚流行性下痢症候群(PED)の流行が収束したこともあり、豚肉・鶏肉の相場は前年並みか、前年を下回る結果となりました。

こうした環境下で、当社グループは、既存顧客への提案活動と新規顧客の獲得に向けた営業活動を積極的に進めました。なかでも、仕入価格の上昇が続く国産牛肉については、量販店や外食企業への販売拡大に注力することで、前年を上回る収益を達成することができました。

こうした活動により、当期の連結業績は、主力の食肉部門、加工食品およびハム・ソーセージ部門とも売上高・利益が増加しました。この結果、売上高は3,034億2百万円(前期比7.4%増)、営業利益は39億14百万円(前期比

1.7%増)、経常利益は55億61百万円(前期比19.3%増)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は37億96百万円(前期比34.0%増)となりました。

私たちは、経営ビジョン「食を通して人を幸せにする生活関連企業」に基づき、2017年3月期から開始する中期経営計画を策定しました。2019年3月期の売上高3,600億円、ROEの期間中平均8.0%以上を目標とし、基本戦略として「食肉加工機能の強化」、「海外事業の推進」、「人材確保(育成)・業務改革」を遂行していきます。これらの活動により、調達から加工・製造、販売まで一貫して対応できるスターゼングループの強みをさらに強固なものとし、新たな顧客価値の創造、企業価値向上につなげる計画です。事業環境は大きく変化していますが、これを成長へのチャンスとして捉え、さらなる事業拡大を目指してまいります。株主の皆様には一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Q & A

社長に聞く

中期経営計画

生産・肥育、営業、加工・製造、物流が一体となった「チーム・スターゼン」として、新たなビジネスモデルを創出し、市場をリードしてまいります。



Q

食肉業界をリードする強みとは何でしょうか？

A

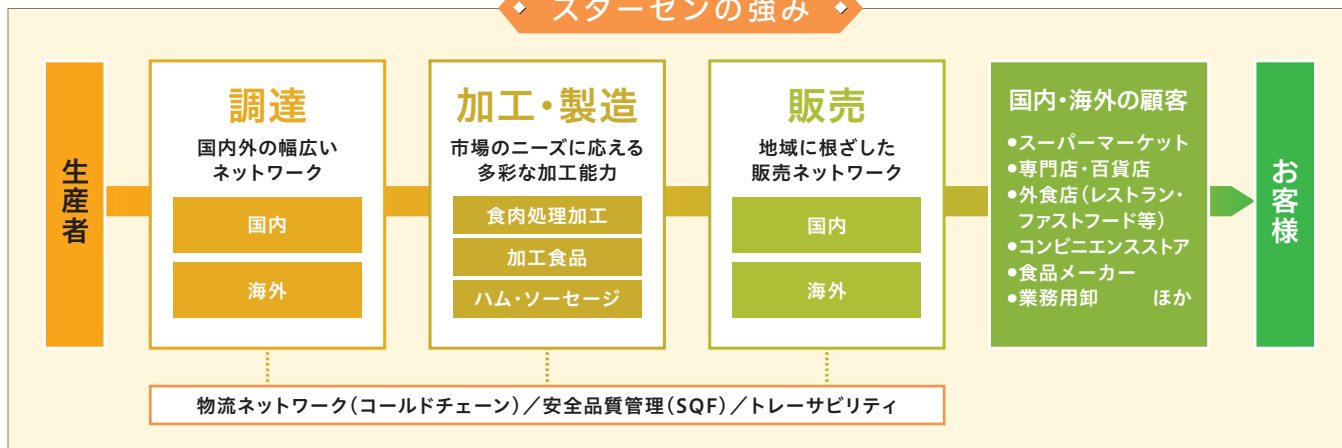
グループとして多彩な機能を備え、顧客ニーズに対応できることです。

スターゼングループは食肉卸から事業をスタートし、長年にわたって機能を拡充してきました。現在では、調達

から加工・製造、販売までワンストップで行っています。質のよい食肉の安定供給はもちろん、ハンバーグなど食肉加工品の分野でも、顧客の要望に応える提案を心がけ、幅広いノウハウを蓄積してきました。また、グループ全体で食品衛生管理の国際規格であるSQFの認証取得などに取り組み、高水準の管理体制を実現しています。

さらにこの4年間では、全体最適の視点から、グループ各社にまたがる営業、加工・製造、物流などの各機能の連

◆ スターゼンの強み ◆



携を強化する改革に取り組み、「チーム・スターゼン」として高付加価値な提案ができる体制をつくり上げました。このチーム力を活かし、たとえばローストビーフを外食・中食の幅広いチャネルで提案し、大手顧客の獲得につなげるなどの成果も現れています。さらに、物流機能や販売子会社の統合など体制の合理化を進め、今後の成長に向けて、顧客ニーズに迅速・柔軟に対応できる事業基盤を整えました。

Q

市場環境をどのように捉えていますか？

A

国内外の市場の変化が大きな成長機会になると考えています。

国内市場は、少子化、高齢化に加え、中食・外食の増加、家庭内調理の簡略化など消費の形態が変化しています。こうしたなか、中食・外食を提供するスーパーやコンビニ、レストランなどでは、加工・調理を省力化しつつ、惣菜などの商品・メニューの多様化を実現するため、食肉

加工品や半調理品へのニーズが拡大しています。また、調達先を見直し、より対応力の高い事業者取引を統合して合理化を図る動きも強く、業界の再編が始まることが予想されます。これらは、スターゼングループの総合力を活かす格好の機会と捉えています。

また、現在、TPP、日欧EPAなどの協議が進行しています。これらが締結すれば、海外調達ルートを拡充して顧客提案の幅を広げることはもちろん、良質な国産の食肉を輸出することで、従来は国内中心であったビジネスの機会を海外に広げることもつながると見えています。

Q

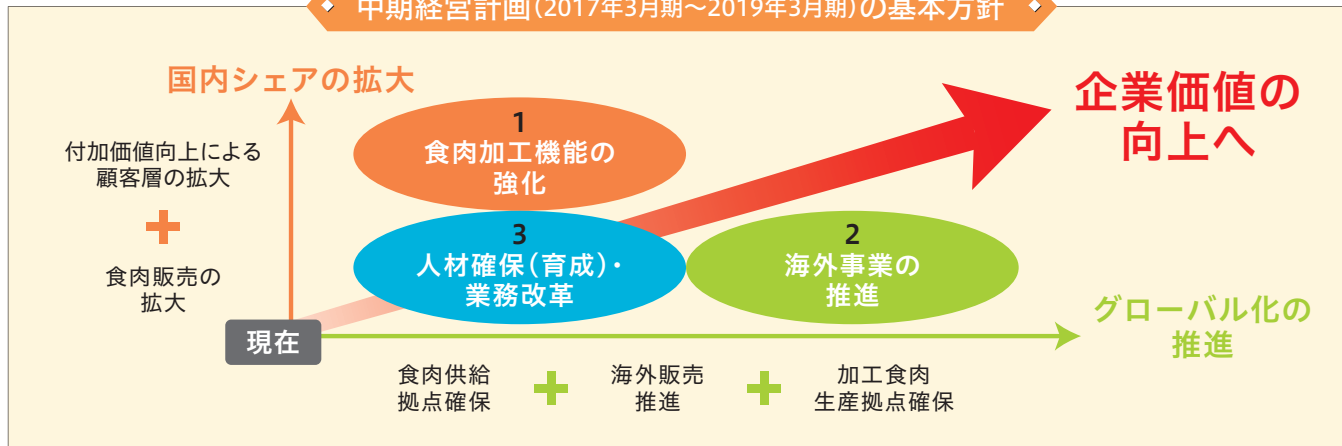
中期経営計画の戦略について聞かせてください。

A

3つの基本戦略のもと、顧客価値の創造と企業価値の向上を目指します。

中期経営計画においては、スターゼングループの強みである提案力・対応力をさらに強化するとともに、それらの強みを活かしてさらなる成長を遂げるべく、3つの基本

◆ 中期経営計画(2017年3月期～2019年3月期)の基本方針 ◆



戦略を掲げています。

一つは、食肉加工機能の強化に向けた、工場拠点の拡充や設備の拡張です。これにより、商品力、加工・製造能力、提案力を向上させます。あわせて、牛や豚などの生産者、食品加工会社など、必要な機能を有するパートナーの開拓を進め、これらパートナーの力も合わせた「チーム」としての機能をこれまで以上に充実させていきます。

これと並行して、顧客の全国対応へのニーズや業界再編を見据えて、国内営業拠点の拡大も進め、主要都市すべてでよりきめ細かいサービスを提供できるようにしていきます。これらの施策により、新規顧客の獲得、シェア拡大を図ります。

第二に、海外事業の推進です。食肉の安定調達のために、海外のパートナーとの供給量や品質面での連携を一層強化するとともに、日本人の嗜好にあった自社ブランド食肉の共同開発も進めていきます。また、拡大する海外の食肉需要に応え、国産食肉の輸出強化に加え、海外から海外への輸出（三国間貿易）にも着手していく考えです。また、将来の関税低減を見据え、海外の加工食肉生産

拠点の確保も進めていきます。

第三に、人材の確保・育成と業務改革です。優秀な人材を確保するため、中途採用や女性の活用・登用に積極的に取り組むとともに、次世代の幹部育成にも注力します。一方、業務改革では、ITの積極的活用により、物流コスト、業務コストの削減を図ります。

Q

最後に株主の皆様にもメッセージをお願いします。

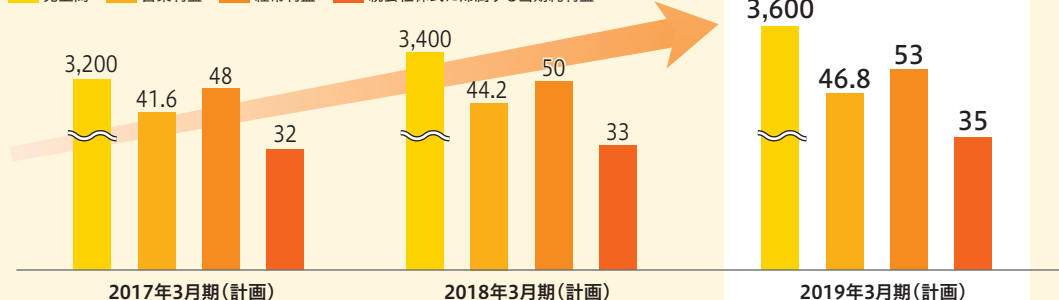
A

グループ内外の力を結集して新たな価値を創出し、ご期待にお応えしていきます。

これまで培ってきた強みを活かし、グループ内はもちろん、パートナーの力も結集して、ともに新たな価値を創造することで、さらなるシェアの拡大や新規顧客の獲得、新たな市場開拓につなげていきます。チーム・スターゼンのこれからにご期待ください。

◆ 中期経営計画(2017年3月期～2019年3月期)の目標数値 (単位:億円) ◆

■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 親会社株式に帰属する当期純利益



※本中期経営計画は、昨上期より策定を進めてまいりました。2016年3月期の決算をふまえて、目標数値について見直しを行っております。見直し結果を反映した中期経営計画については、ホームページにてすみやかに公開いたします。

ROE：期間中平均8.0%以上を目指す

会社概要／株式の状況

会社概要 (2016年3月31日現在)

設立	1948年6月17日
本社	〒108-0075 東京都港区港南二丁目5番7号
資本金	98億9,975万円
主な事業内容	1.食肉の加工および販売 2.畜産物の生産、加工および売買 3.食肉および畜産物の輸出入 4.食品の製造、加工および売買
主な販売先	スーパーマーケット、食肉専門店、百貨店、 外食産業、コンビニエンスストア、生協、 食品加工メーカー、食肉卸売業、その他
従業員数	2,314名

役員 (2016年3月31日現在)

代表取締役会長	鵜 橋 誠 一	常 勤 監 査 役	片 山 学
代表取締役社長	中津濱 健	常勤監査役(社外)	北 條 秀 樹
常 務 取 締 役	永 野 章	監査役(社外)	杉 島 光 一
常 務 取 締 役	中 井 俊 夫	監査役(社外)	吉 原 大 吉
取 締 役	寺 師 孝 一	執 行 役 員	横 田 和 彦
取 締 役	茂 原 馨	執 行 役 員	林 育 司
取 締 役	矢 野 勉	執 行 役 員	定 信 隆 壮
取 締 役	入 江 泰 明	執 行 役 員	岸 博 之
取締役(社外)	鈴 木 宏	執 行 役 員	西 田 啓 二
取締役(社外)	太 田 泰 介	執 行 役 員	西 村 周 司
取締役(社外)	染 谷 止 水		

主要グループ会社 (2016年3月31日現在)

事業持株会社 スターゼン株式会社

食肉の販売(国内)

- スターゼン販売(株) ●(株)ゼンチク販売

食肉、食肉加工品の輸出入

- スターゼンインターナショナル(株)

海外子会社

- ゼンチク・オーストラリア PTY.LTD ●スターゼン(アメリカ),INC.
- スターゼンヨーロッパ ApS
- スターゼンシンガポールPte. Ltd.

食肉の処理加工、食肉加工品・食品の製造販売

- スターゼンミートプロセッサー(株)

ハム・ソーセージ、加工食品などの製造販売

- ローマイヤ(株) ●(株)キング食品

生産・肥育

- (有)ホクサツえびのファーム ●(株)美保野ポーク
- (株)雲仙有明ファーム

ロジスティクス・倉庫

- サンエフ(株) ●スターゼン東京物流センター(株)

製麺事業、システム開発等

- その他各社

株式の状況 (2016年3月31日現在)

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	8,775,921株
株 主 数	18,018名

●大株主の状況

名 称	所有株式数(千株)	割合(%)
株式会社三井住友銀行	324	3.98
農林中央金庫	304	3.73
株式会社三菱東京UFJ銀行	279	3.43
スターゼン社員持株会	237	2.91
株式会社鵜橋興産	234	2.88
三井物産株式会社	221	2.71
クリアストリーム バンキング エス エー	210	2.57
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	177	2.17
株式会社みずほ銀行	160	1.96
クレディ スイス ルクセンブルグ エスエー カスタマー アセッツ ファンズ ユーシッツ	160	1.96

注1)当社は2016年3月31日現在、自己株式626,367株を保有していますが、上記大株主からは除外しています。

注2)持株比率は、発行済株式の総数から、自己株式数を控除して計算しています。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬
公告方法	電子公告 http://www.starzen.co.jp/ir/koukoku

単元株式数	100株 (2016年3月31日現在)
株主名簿管理人	東京都中央区 八重洲1丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

株主優待のご案内

日頃からご支援いただいている株主の皆様にご感謝の気持ちを込め
まして、株主優待を所有株式数に応じ次の通り進呈いたします。

1 自社グループ製品(3月のみ)

100株以上
ハム類詰合せ
(3,000円相当)



500株以上
ハム類詰合せ
(5,000円相当)



1,000株以上
国産和牛ステーキ肉
(10,000円相当)



2 **100株以上**

歳暮ギフト(9月)、中元ギフト(3月)を
通常販売価格の20%割引(送料無料)
にてご案内

3 **100株以上**

「ローマイヤおせち」の割引販売(数量
限定)20%割引(送料無料、9月のみ)
にてご案内

株主様アンケート実施のお知らせ

株主の皆様からのご意見・
ご要望をお伺いし、今後の
IR活動の参考とさせていた
だくため、アンケートを実施
いたします。まことにお手数
をおかけしますが、同封のハ
ガキにてご回答ください。
ご協力のほど、よろしくお願い
申し上げます。

 郵便番号 108-8790 612	
会社名(印刷) 〒108-8790 東京都港区港南2-4-7 港南ビル スターゼン株式会社 プロジェクト本部 IR課担当 行	(保送人) 東京都港区港南2-4-7 港南ビル スターゼン株式会社 プロジェクト本部 IR課担当 行
回答期限 2016年3月31日(木)まで	
本誌への 返信 郵切 送料 送料 送料	郵切 送料 送料
年齢 □10代 □20代 □30代 □40代 □50代 □60代 □70代 □80代	性別 □男性 □女性
職業 □会社員 □自営業 □学生 □無職 □その他 □専業主婦 □専業主夫	業種 □製造業 □流通業 □サービス業 □金融業 □不動産業 □建設業 □その他
保有株式数 □100株未満 □100株以上 □100株以上	保有期間 □1年未満 □1年～3年 □3年～5年 □5年～10年 □10年～15年 □15年以上
保有期間 □1年未満 □1年～3年 □3年～5年 □5年～10年 □10年～15年 □15年以上	保有期間 □1年未満 □1年～3年 □3年～5年 □5年～10年 □10年～15年 □15年以上



最新のIR情報は当社ホームページで
ご覧いただけます。

当社の各種IR資料をご覧いただけるほか、オリジナルのコンテンツ
を豊富にそろえています。ぜひ当社ホームページをご活用ください。

<http://www.starzen.co.jp>

スターゼン株式会社

〒108-0075 東京都港区港南二丁目5番7号

電話: 03-3471-5521

